

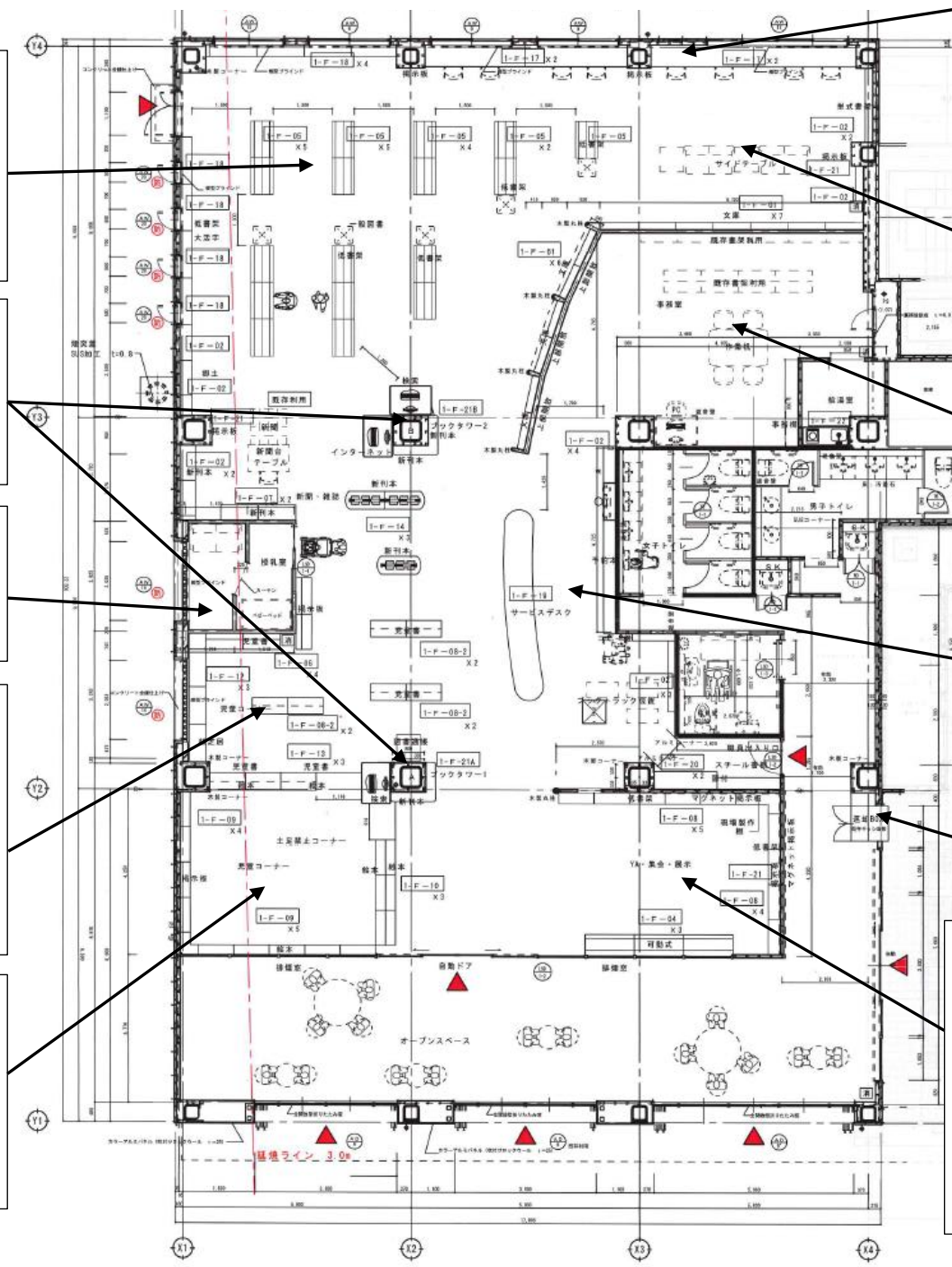
④【一般書コーナー】
書架は圧迫感を与えず、本を探しやすい高さの5段を基本とし、書架の間に椅子を設置し、座ってゆったりと過ごしてもらえるように配慮

⑤【ブックタワー】
柱を活用し、本を「面だし」して展示できるような壁面とする。
柱周りには検索機やネット端末を設置

⑥【授乳室】
サービスデスク側から出入りが見えることで安心して利用できる。

⑦【児童コーナー】
書架は4段を基本とし、子どもの手に取りやすいよう配慮
サービスデスクから子どもの動きがよく見えるため、外との出入りも把握しやすい。

⑧【絵本コーナー】
靴を脱いで利用するスペースとし、赤ちゃんも安心して過ごせる。
書架上部は「面だし」して排架できる書架を設置



⑨【閲覧・学習デスク】
北側窓面は個別に使用できるデスクを設置。入り口近くの賑わいを気にせず利用できる。

⑩【閲覧・学習エリア】
奥まった静かなエリアは、ゆっくり過ごせるようにソファを設置
ゆったりとした空間を確保する。

⑪【事務室】
既存書架を利用し、書庫の役目も持つ。

⑫【サービスデスク】
入り口、奥が見渡せるよう中央に配置し、デスクの両脇に通路を確保することで職員の動線に配慮
デスク後ろに予約本書架、コピー機を配置し、業務がスムーズに行える。

⑬【夜間ブックポスト】
夜間、閉館時の資料返却に対応

⑭【ティーンズコーナー】
本を中心に中高生が集える場
魅せる情報発信が出来るよう、書架上部壁面は本の「面だし」が出来る掲示板と、マグネットボード式の掲示板を設置。
南側書架は可動式で、設置場所が自由に換えられる。